

大手川の改修事業

「大手川の護岸を考える！」ワークショップ

☆ ニュース ☆

第3号

今までの意見を踏まえた事務局案に対して、補足事項や改善事項を話し合い、自分の支持する案に投票していただきました！

京都府では大手川の改修事業を進めるにあたって、「宮津の歴史と自然を生かした安全で、心やすらぐ水辺づくり」を目標として、景観に配慮した護岸構造の検討や遊歩道の整備についてワークショップを開催し、参加者のみなさんと一緒に意見を出し合って考えていきたいと思ひます。

つきましては、第3回ワークショップが平成 18 年 7 月 9 日（日曜日）に開催されましたので、その概要についてお知らせします。



ワークショップってなに??

さまざまな立場の人々が集まって、自由に意見を出し合い、互いの考えを尊重しながら、意見や提案をまとめ上げていく集まり（場）です。



◆第3回ワークショップの概要◆

(21名の方が参加されました！)

参加された 21 名の方々が 4 つの班に分かれ、事務局案について補足・改善事項を話し合い、自分の支持する案に投票していただきました。

① 開会のあいさつ



② 第2回ワークショップの概要説明

・前回ワークショップの議題である、課題解決に向けた各班の意見が説明されました。



③ ワークショップの意見を踏まえた事務局案の説明

・事務局案として『歴史的景観に配慮した、護岸の構造などについて（護岸(小段部、壁面部)、パラペット部、橋部)』、『親水性と安全性について（親水性のための階段護岸の要・不要と具体的な階段護岸案)』、『右岸側歩道部について（平面形状、舗装、植栽など)』について説明されました。



④ 参加者の関係づくり

・各班で、自己紹介が行われました。



⑤ 事務局案に対して、補足事項や改善事項を検討

● 歴史的景観に配慮した、護岸の構造などについて話し合いました。



● 親水性と安全性について話し合いました



● 右岸側歩道部について話し合いました。



⑥ 検討結果の発表

・班ごとに検討結果を発表しました。



⑦ 事務局案及び補足改善案について投票

・自分の支持する案に、シール貼りによる投票を行いました。



⑧ 投票結果の発表

・みなさんによる投票の結果（票数）が発表されました。



⑨ 閉会のあいさつ



◆第3回ワークショップの結果概要◆

①護岸（小段、壁面部）

＜整備の方向性＞

『**右岸側：小段が水面上に見えないように整備する。**』

＜理由＞

- ・WSの投票結果では、全員が「右岸側は小段が水面上に見えないように整備する」としている。
- ・小段が水面上に見えないので、ゴミによる管理の問題や景観阻害、子供への安全面での問題がない。
- ・かつての城壁の景観に近いものになる。

＜今後の検討課題＞

- ・小段が、水面上に見えない護岸構造を検討する。
- ・歴史的景観への配慮のため、壁面は既存石の再利用を検討する。

『**左岸側：できるだけ小段の高さを上げて、浸水しにくく歩行可能な小段を整備し、沿川住民への配慮や治水上必要な護岸配置を行う。**』

＜理由＞

- ・WSの投票結果では、「左岸側はできるだけ小段の高さを上げて、浸水しにくく歩行可能な小段を整備する」が過半数を占めている。
- ・周遊性を出すためにも、左岸側にも人を歩かせる。（右岸側には歩道がある。）
- ・小段が水に浸かり難いので、ゴミがたまり景観阻害が起こり難い。

＜今後の検討課題＞

- ・歴史的景観への配慮のため、壁面は既存石材活用を含めた石材利用を検討する。
- ・小段に人を通して歩行可能な整備を行う場合は、柵などによる安全対策を検討する。
- ・沿川住民のプライバシーや防犯への配慮、さらに、治水上必要な河川断面や計算上の技術的検証が必要であり、平面的な配置を検討の上、関係者と協議する。（小段歩道部は、市役所前からふれあい広場までなど範囲を検討する。護岸形状を組み合わせる。など）

③橋部

＜整備の方向性＞

『**中橋は、木橋又は石橋風の化粧を行う。**』

＜理由＞

- ・歴史的景観への配慮のため、中橋に化粧を行う。
- ・WSの投票結果では、木橋もしくは石橋風イメージのどちらがよいかは僅差であったが、やや木橋のイメージの方が多い。

＜今後の検討課題＞

- ・高欄、地覆、桁かくしなどは、木橋もしくは石橋イメージの化粧方法・デザインの検討を行う。
- ・歴史的実事が分かる資料があればそれに基づく。
→資料が無ければ、WSの投票により過半数を占めた木橋風に化粧を行う。

⑤右岸側歩道部

＜整備の方向性＞

『**形状は、平面がクランク状で、民家前はすぐに車道にならないように車道部分との間に歩道部と同じ舗装の緩衝帯を設ける。植栽は、歩道部車道側に高木並木、足元はツリーサークルに整備する。**』

＜理由＞

- ・WSの投票結果では、上記結果（C-2案）が過半数を占めている。
- ・道路際の住民の安全対策がされており、民家側が直ぐに車道にならないようにしている。
- ・クランク形状は、和風イメージとされている。

＜今後の検討課題＞

- ・歩道側や民家側は、安全対策として必要に応じて車止めを検討する。
- ・舗装は、経済性を考慮した素材で、景観に配慮したものを検討する。
- ・高木の並木を整備し、樹種はサクラ（ソメイヨシノもしくはオオシマザクラ）にし、高木の足元はツリーサークルを検討する。
- ・パラペットの足元には、瓦屋根が歩行者にあたらないように低木もしくは地被を検討する。
- ・幅員が広くなるところには、違法駐車が多くなるため配慮が必要。

ワークショップの結果を受け、今後の整備の方向性を示します。

②パラペット部

＜整備の方向性＞

『**右岸については白壁に整備する。**』

＜理由＞

- ・WSの投票結果では、「右岸左岸ともに白壁がよい」が過半数を占めている。
- ・歴史的景観への配慮が十分なされている。
- ・壁面部とパラペット部のデザインの縁を切りやすい。

＜今後の検討課題＞

- ・右岸については、下部：白壁+上部：瓦屋根を基本として、基本的なデザインを検討する。
- ・左岸については、経済性を考慮し、詳細構造について再検討する。
- ・白壁には、のぞき窓をつける。（壁高は、構造令上河川監視管理のため余裕高+0.3m以上にあまり高くできないことに配慮する。）
- ・グレードアップ分の整備主体を検討・協議する。

④親水性と安全性

＜整備の方向性（別途行われる、ふれあい広場改修設計への提言）＞

『**ふれあい広場を利用して川に降りる階段により親水空間を整備する。**』

＜理由＞

- ・WSの投票結果では、「ふれあい広場を利用して親水空間を利用する」が過半数を占めている。また、僅差であるが川に沿って降りる階段案（A案）が多い。
- ・水面を広場内に引き込んだ案（B案）は、安全性に配慮すると常に水があるようにはできないなど技術的に困難である。

＜今後の検討課題＞

- ・ふれあい広場のどの位置に川へ近づく階段を整備するか検討する。
- ・安全性、バリアフリーに配慮する。

◆今後の予定◆

ワークショップの結果を踏まえ、専門的な見地により課題事項を検討し、関係機関との調整結果に基づき、事務局案を発表します。

（検討により、ワークショップ結果とは異なる場合があります。）

◆検討対象位置図

（大手川の中橋～大手橋間）



◆ワークショップのスケジュール◆

第1回「大手川の事業や現状を理解し、課題を出そう！」（現地ウォッチングと室内作業）

○日時：平成18年3月19日（日曜日） ○場所：宮津市中央公民館（みやづ歴史の館）

第2回「大手川の具体的なアイデアを出そう！」（アイデア出し：室内作業）

○日時：平成18年5月21日（日曜日） ○場所：宮津市中央公民館（みやづ歴史の館）

第3回「プランについて考えよう！」（プランの検討：室内作業）

○日時：平成18年7月9日（日曜日） ○場所：宮津市保険センター

今回



お問い合わせ先

〒626-0044 京都府宮津市字吉原 2586-2

京都府丹後土木事務所 災害対策室 安田、坂井田

TEL(0772)22-3243 FAX(0772)22-3250